



平成 27 年度第 2 委員会行政視察報告書

2 番 三田 忠男

平成 27 年 7 月 15 日(水)~17 日(金) 2泊3日間、行政視察を行いましたので下記のとおり復命致します。

記

1. 福井県勝山市（子育て支援日本一の取り組みについて）

先ず驚いたのが、庁舎へ入ったとたん、どこからともなく聞こえてきた、「いらっしゃいませ」「こんにちは」と大きな声での来庁舎へのあいさつでした。数多くの庁舎を訪ねていますが初めての感動でした。

今、伊豆市でもおもてなしの接遇研修が行われたが、どう行動に移していくのか、研修効果が表れるのか見守りたいと思います。

勝山市は、人口 2 万 4 千人、古くから農林業の盛んであるほか明治以降の「はたや」が連なる繊維の町として発展し、恐竜博物館ある山々に囲まれた土地です。歴史的な背景から、女性が働くため保育所が整備されてきた歴史があり、福井県全体が教育、子育てに力を入れている歴史があります。

「子育て環境日本一を目指します。」の下、1) 安心・安全な出産育児環境を確立、2) 第 3 子以上には奨励金支給、3) 県下トップクラスの保育料軽減と待機児童なし、4) 全小学生が児童センターを無料で利用可能で、細部は、全体の添付資料を参照していただきたいが、学ぶ点は、女性の就業支援と産業の育成と一体となった教育・子育て支援を住民のニーズに寄り添った施策に展開していく姿勢です。一般会計予算 1 3 1 億、総額 2 1 6 億円。

2. 金沢市（北陸新幹線開業に伴う文化財を活かした取り組みについて）

人口 4 5 万人、予算 3 3 0 5, 8 億円の規模の自治体との比較は一概に参考にするのは、難しいが新幹線開業を、平成 2 5 年から 2 9 年の間、開業効果を最大限に引き出すため「金沢魅力発信行動計画」の実践を展開しています。具体的には、首都圏からの交流人口の拡大のためのプロモーションの強化とおもてなしの機運醸成など受け入れ環境の整備です。

規模が違いすぎますが、周到な準備と金沢市のみならず、近隣地域との連携で広域的な体制作りや各種催しメニューには、学ぶ点が多々ありました。残念なのは、バリアフリーや障害者関連の企画が特記されておらず、求めに応じて支援するとのことでした。高齢社会や障害をお持ちの方々に対する施策は、今後の開発すべく視点だと思えます。

伊豆市では、多くのリハビリ病院、福祉施設があります。十分配慮すべき施策でありたいと訴えます。

3. 富山県射水市（中学校の統合について）

射水市は、面積109Km²、人口9万5千人弱、3万4千弱世帯、792,5億の予算規模です。

統合の詳しい資料が別添にありますので、今回伊豆市と比較して感じたこと、今後も課題と思われることを列記します。

まず、驚いたのは、住民からの要望で始まったことです。他校との統合を視野に入れたより良い教育環境の整備について要望書が教育委員会へ提出され、各種会議を組織し、住民とともに推進して実現した点は、大いに学ぶべき視点です。何よりも懇切丁寧に聴き耳を持って説明を繰り返していったことです。小中学校との合同意見交換会、自治会長意見交換会、地元市議会議員への報告等きめ細かに取り組んでいました。

子どもにとってのより良い教育環境はいかにあるべきかの一点を見出す努力がされてきました。学校が無くなる地域への支援策は別途協議していくことで一致を見ていました。

伊豆市の課題として、時々での情報公開を切れ目なくおこない、疑問点に対しては懇切丁寧に意見交換することだと思えます。

新しい中学校は、外見から学校と想像できない位、採光の行きとどいた明るい校舎でした。図書館も充実し、クラブ活動、郷土芸能文化活動にも力を入れていました。何よりも嬉しかったのは重点目標が、中伊豆小学校と同じ、「凡事徹底」でありました。

4. 富山市（富山型ディサービスについて）

人口42万人弱、面積約1242km²、予算3521,5億円

行政視察受け入れ第2位の富山型ディサービスは、全国的に有名で「街なかの施設で、障害の有無にかかわらず、地域に住むお年寄りから乳幼児まで、幅広い年齢層の方を受け入れている。高齢者や障害者（児）が同じ場所で同時にサービスを受けることで、お互いの不自由なところを補ったり、活気が生まれる等の効果が見込まれる。」小規模と共生とがキーワードである。

始まりは、地域で生活したい方のニーズに沿った支援を開始した3人の看護師さんの努力からである。実績を積み、行政との連携を深め、富山型ディサービス推進特区の認定を受け、全国展開が可能となった。

学ぶべき点は、民間活力の行政支援の視点である。住民サービスの向上になると思われる点は、官民共同で開発していくことが重要であると思えます。

伊豆市にあった、使い勝手の良い福祉サービスの開発に業者・行政の仲立ちを含めて取り組む決意をした視察でした。

以上